

# Panasonic

ミニカセット レコーダ  
Mini Cassette Recorder

品番 **RQ-L230**

取扱説明書

Operating Instructions



保証書別添

上手に使って上手に節電

- 取扱説明書と保証書は、よくお読みのうえ、大切に保管してください。
- 保証書は必ず「販売店名・購入日」等の記入を確かめて、販売店からお受取りください。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

このたびはパナソニックミニカセットレコーダRQ-L230をお求めいただきまして、まことにありがとうございました。

## 目 次

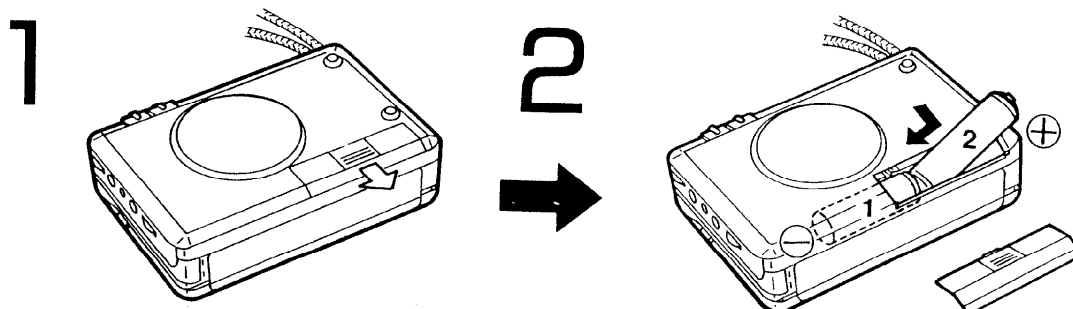
乾電池の入れかた	3
カセットの入れかた	3
各部のなまえと働き	4
テープを聞くには	6
録音するには	8
<small>ボイスオペレーション</small> VOS録音するには	10
別売りアクセサリを使って録音するには	12
電源について	13
安全にご使用いただくために	15
テープについて	16
お手入れのしかた	17
故障!?と思う前に	18
アフターサービス	19
定格	20
Operating Instructions	21

### 付属品

単三形乾電池 2個  
キャリングケース  
..... 1個

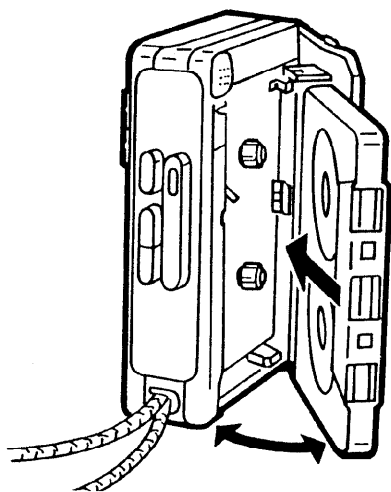
# 乾電池の入れかた

(電源について詳しくは  P13 をご覧ください。)



使用乾電池：  
単三形乾電池  
2個

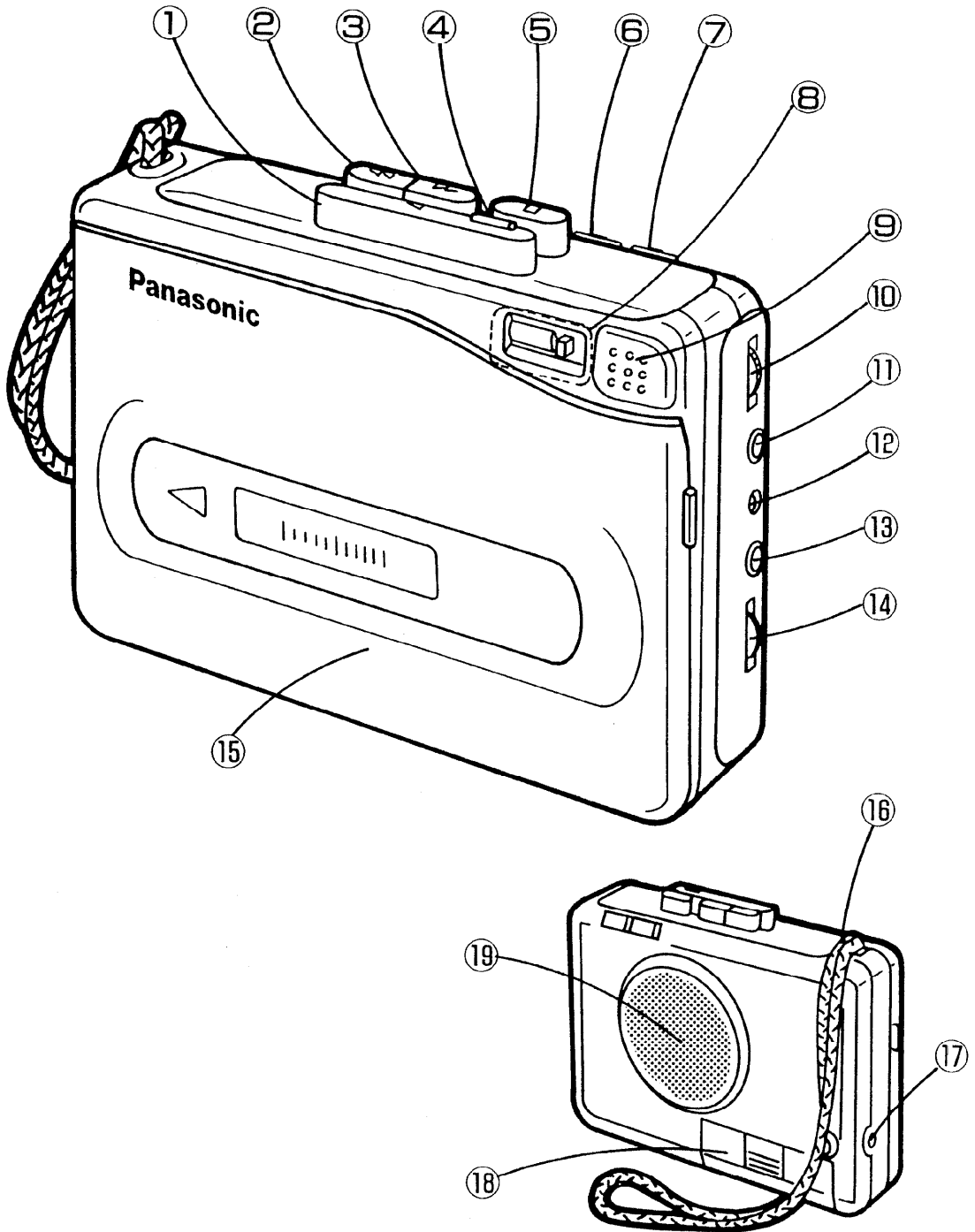
# カセットの入れかた



- 1 カセットふたを開く。
- 2 カセットを入れる。
- 3 閉じる。

- 取出すときは、必ず停止ボタンを押してテープを止めてから取出してください。

# 各部のなまえと働き



①再生ボタン

②早送り/頭出しボタン

③巻戻し/くり返しボタン

④録音ボタン

⑤停止ボタン

ボイスオペレーション  
⑥VOS/音質切換スイッチ



⑦一時停止スイッチ

⑧テープカウンターとリセットボタン

テープの走行とともに数字が変わります。

リセットボタンを押すと“000”に戻ります。

録音のとき、数字をメモしておくくと便利です。

⑨内蔵マイクロホン

ボイスオペレーション  
⑩音量/VOSレベル調整つまみ

⑪外部マイク端子

⑫録音/電池チェックインジケータ

⑬イヤホン端子

耳をあまり刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。

−10%〜+20%  
⑭テープスピード調整つまみ  
録音中は働きません。

⑮カセットホルダ

⑯ハンドストラップ

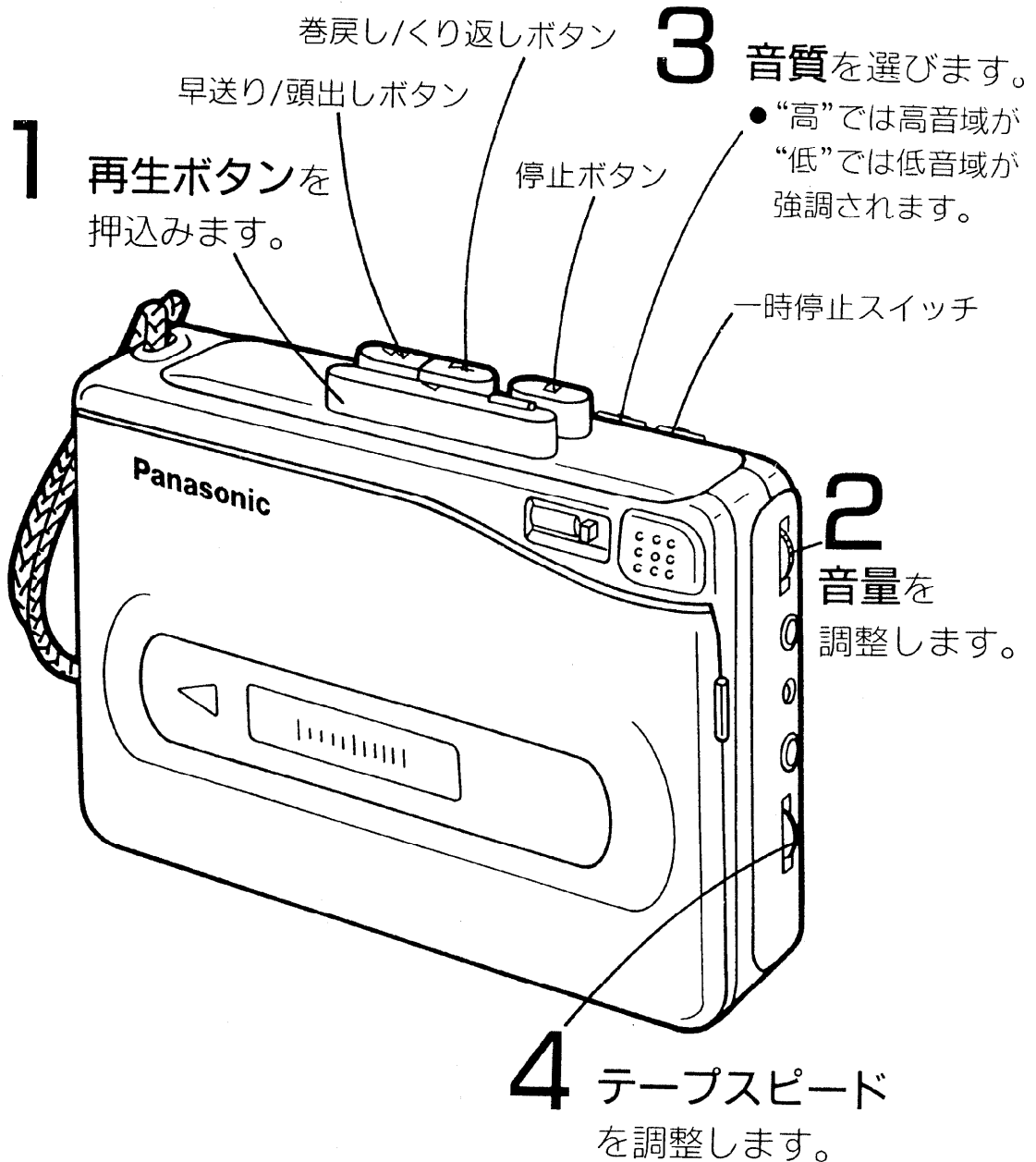
⑰外部電源端子

(DC IN 3V ⊖ ⊕)

⑱乾電池ケースふた

⑲スピーカ

# テープを聞くには



●テープを止めるときは、停止ボタンを押します。

再生中に誤って録音ボタンを押込まないようにご注意ください。


---

## ■オートストップ

録音または再生中にテープが終端までくると、オートストップが働いて、押込まれていたボタンが戻り電源が切れます。

- 早送りや巻戻しのときは働きません。必ず停止ボタンを押して電源を切ってください。

## ■一時停止スイッチ

“”にすると、テープ走行を一時的に止めることができます。再び操作をするときは、“切”にしてください。

- 一時停止状態では、電源は切れていません。  
使用しないときは、停止ボタンを押して電源を切ってください。

## ■早送り/頭出しボタン

押込むとロックし、テープを早送りします。

止めるときは停止ボタンを押します。

再生中に押すと、押している間キュルキュルというモニタ音を聞きながら早送りできます。(頭出し)

## ■巻戻し/くり返しボタン

押込むとロックし、テープを巻戻します。

止めるときは停止ボタンを押します。

再生中に押すと、押している間キュルキュルというモニタ音を聞きながら巻戻しできます。(くり返し)

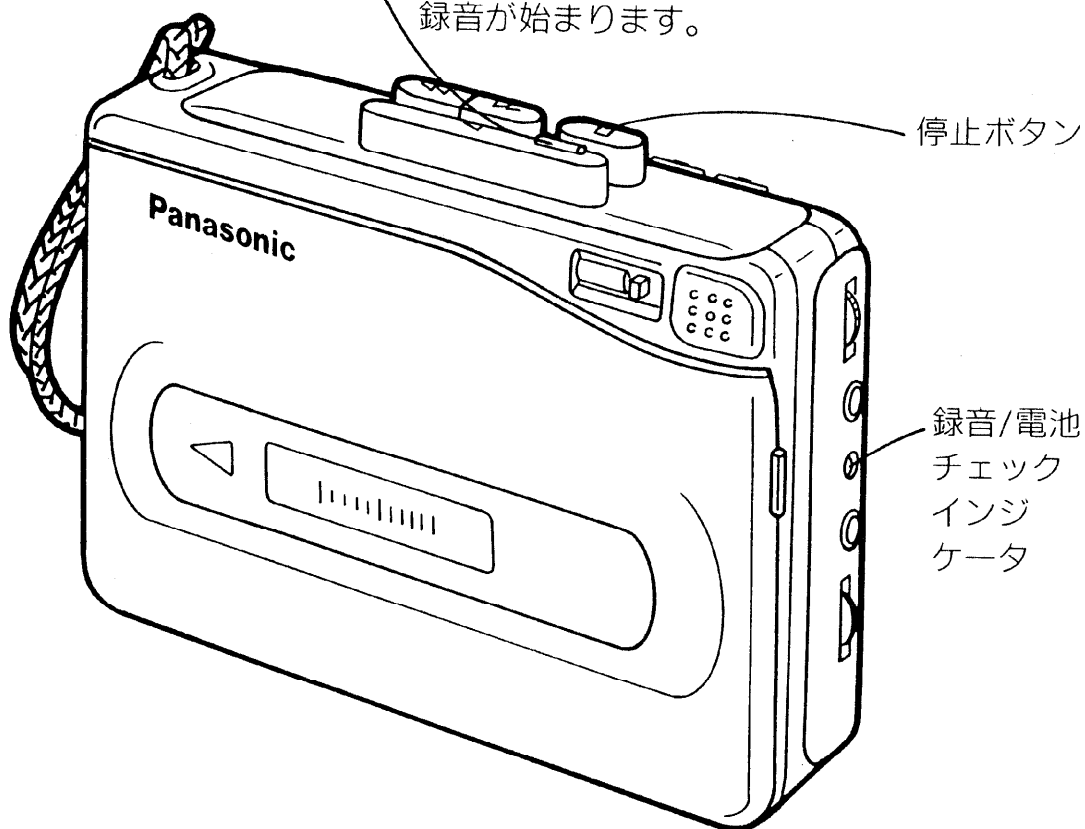
- 早送り、巻戻し中に再生ボタンを押込まないでください。

# 録音するには

自動録音調整回路が働きますから、録音レベルの調整は必要ありません。

1 録音ボタンを押込みます。

- 録音/電池チェックインジケータが点灯し、録音が始まります。



- 録音を止めるときは、停止ボタンを押します。



---

## ■モニタについて

録音している音をイヤホンで聞くことができます。  
音量調整つまみで、モニタの音量を調整してください。

- イヤホンをマイクに近づけるとハウリング(ピーという音)が起きることがあります。

## ■クイックレビューについて

録音中に、その内容をすぐ聞きたいとき、巻戻し/くり返しボタンを押すと、録音ボタンだけが元の位置に戻り、テープが巻戻されます。

指を離すと、いま録音した内容を聞く(再生)ことができます。

## ■後追い録音のしかた

再生中に、録音ボタンを押込んで録音することができます。  
録音したものを一部修正したいときなどに便利です。

## ■消去のしかた

録音済みのテープに録音すると、前の録音は消され、新しい録音のみが残ります。

すべての録音を消去するときは、消去用プラグ(QJP0959L、サービス部品扱い別売り)を外部マイク端子に差し込んで、録音状態でテープを走行させてください。

ボイスオペレーション

# VOS録音するには

一時停止の操作をしなくても、マイクに入る音声の大きさを感知して、テープを走行、停止させる機能です。

ボイスオペレーション

VOS/音質切換スイッチを“**入**”にすると、マイクに音声が入っているときテープが走行し、静かになると約4秒後に止まります。

**2** 録音ボタンを  
押込みます。

**1** ボイスオペレーション  
VOS/音質切換  
スイッチを“**入**”に  
します。

**3** ボイスオペレーション  
VOSレベルを  
調整します。

- 録音/電池チェックインジケータが点灯すると、テープが走行し、録音していることを示します。

- 録音を止めるときは、停止ボタンを押します。



ボイスオペレーション

## ■VOSレベルの調整

周囲の雑音や声の大きさなど環境に合わせて最適位置を決めてください。

調整のめやす	ボイスオペレーション VOSレベルつまみ
通常はこの位置に合わせて録音してください。	4 ↔ 7
大きな音声だけ録音します。 録音したい音声でも小さいとテープが走行せず、録音できないことがあります。	1 ↔ 3
小さい音声も録音します。 録音したくない音声（周囲の雑音など）でもテープが止まらず録音されることがあります。	8 ↔ 10

ボイスオペレーション

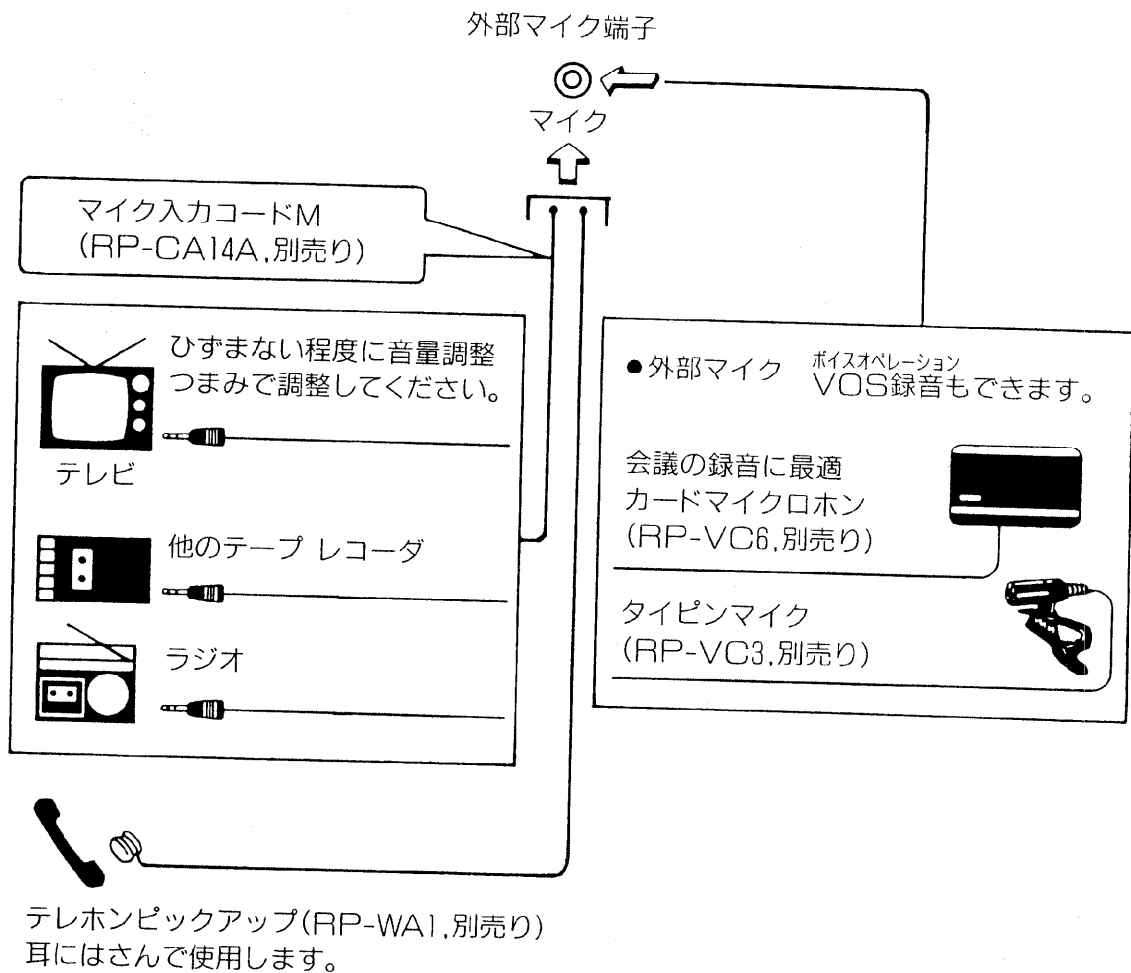
- VOSレベル調整つまみが“0”位置では録音されません。

### ご注意

- 外部マイクを接続したときにも<sup>ボイスオペレーション</sup>VOS録音ができます。使用するマイクによって、レベルが変わりますので、<sup>ボイスオペレーション</sup>VOSレベル調整つまみを最適位置にしてください。
- 音声が入ってテープがスタートしたとき、立上がり部分の音声がわずかに途切れることがあります。

# 別売りアクセサリを使って録音するには

- 接続時には各アクセサリに付属の変換プラグをお使いください。
- 詳しくは、各アクセサリの取扱説明書をお読みください。
- 外部マイク端子にプラグを接続すると、内蔵マイクロホンからの録音はできません。



# 電源について

## 電源 1 乾電池電源

乾電池の入れかたは、 をご覧ください。


### ■乾電池の取替時期は

音がひずんだり小さくなったときは全部新しい乾電池に取替えてください。

- 長時間続けて使用するより、電源を切ってしばらく間をおきますと乾電池の寿命を延ばすことができます。

### ■バッテリーチェックのしかた

録音中、録音/電池チェックインジケータの点灯状態で、乾電池の消耗度がわかります。

明るく点灯している	 録音/電池	乾電池は正常ですからそのまま使えます。
消えている 点灯しているが 暗い	● 録音/電池	乾電池は消耗していますから全部新しい乾電池に取替えてください。

### ■乾電池使用上のご注意

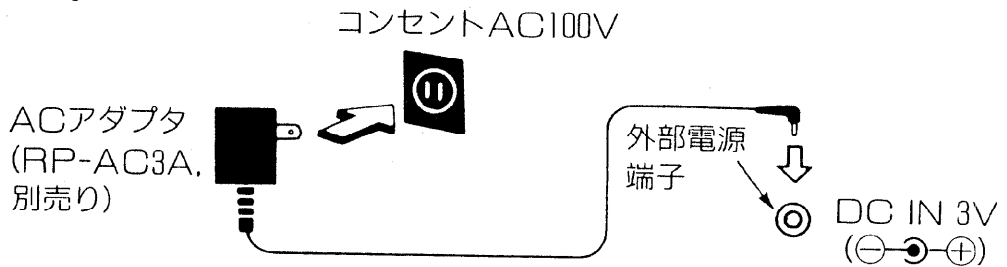
乾電池は使いかたを誤ると破裂や破損、液もれのおそれがあります。

—— 次のことは必ずお守りください ——

- 新しい乾電池と使用した乾電池は混用しないでください。
- 同じ種類の乾電池を使用してください。
- 乾電池は充電式ではありません。
- ⊕プラスと⊖マイナスは正しくいれてください。
- 火の中への投入や、ショート(短絡)、分解、加熱しないでください。
- 使用しないときは電源を確実に切ってください。
- 長時間使用しないときは、乾電池の漏液による損傷を防ぐため、乾電池を取出しておいてください。

## 電源2 AC電源

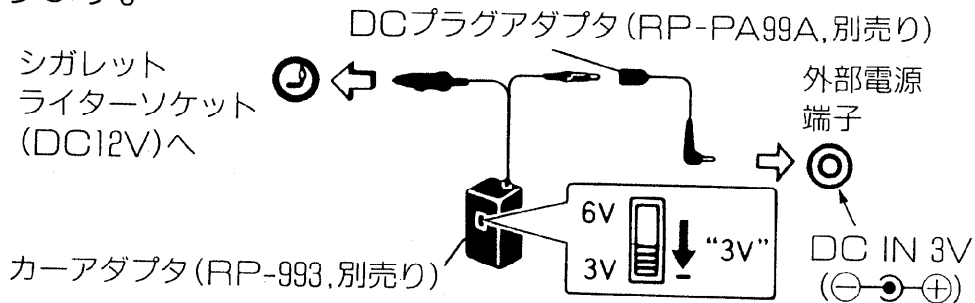
ACアダプタ (別売り) を接続すると、自動的にAC電源に切り替わります。



- ACアダプタは必ず指定のアダプタをご使用ください。市販のアダプタには極性が反対のものがあります。
- 乾電池電源に切り換えるときは、必ず本機側のプラグをはずしてください。そのままでは乾電池電源に切り換わりません。
- 本体とACアダプタは少し離してお使いください。近づけ過ぎるとハム（ブーンという音）が出ることがあります。

## 電源3 カー電源

カーアダプタ (別売り) を接続すると、自動的にカー電源に切り替わります。



- カーアダプタは、必ず指定のアダプタをご使用ください。市販のアダプタには極性が反対のものがあります。
- トラック、バスなどの電源は24Vですから使用できません。必ず12V電源の自動車をご使用ください。

# 安全にご使用いただくために

---

本機内部には絶対に触れないでください。

- 改造したり、不用意に内部を触ると、故障の原因になります。

風呂場など湿気の多い所やほこりの多い所では使用しないでください。

高温になる所に放置しないでください。

- 夏季の閉めきった自動車内(100°Cにも達することがある)や、長時間直射日光の当たる所、暖房器などの近くで使用したり、放置しないでください。
- 60°C以上の高温になると、キャビネットが変形・変色したり、故障することがあります。

定期券やキャッシュカードなどの磁気カード類や時計などをスピーカに近づけないでください。

スピーカのマグネットの影響でカードが使えなくなったり、時計が狂ったりすることがあります。

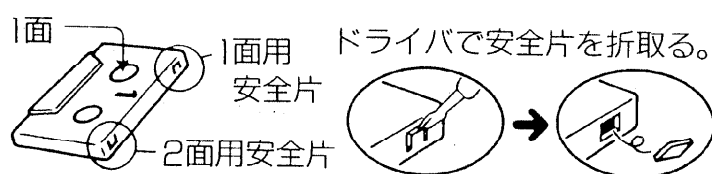
落としたり、強い衝撃をあたえないでください。

# テープについて

ノーマルタイプのカセットテープを使用してください。クロームタイプやメタルなど他のテープを使用しますと、本機の性能を十分発揮できないことがあります。

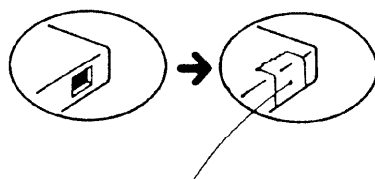
■120分テープは伸びたり、機械に巻込みやすいため、使用しないでください。

- 大切な録音を誤って消さないために/  
カセットの安全片を折取って大切な録音をお守りください。



安全片を折取ると、誤って録音を消してしまうことがなくなります。

- 再び録音したいとき



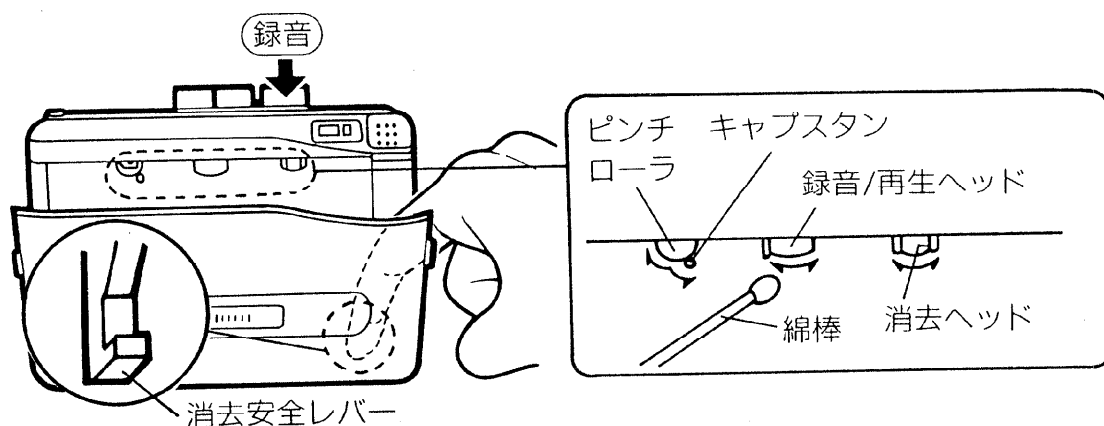
ゼロハンテープをはる。



# お手入れのしかた

## ■ヘッド部のクリーニング(約10時間ごと)

カセットふたを開け、綿棒かヘッドクリーニングキット(RP-919,別売り)でクリーニングしてください。消去安全レバーを押しながら録音ボタンを押込むと、ヘッド部が出てきます。



## ■キャビネットのクリーニング

乾いた布でふいてください。


汚れがひどいときは水で布をしめらせてふいた後、からぶきししてください。

### ご注意

- 本機には絶対に注油しないでください。注油しますと故障の原因になることがあります。
- ヘッドにドライバなどの鉄類や磁気を帯びたものを近づけないでください。性能が悪くなります。
- ベンジンやアルコール、シンナーなどの溶剤でふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。
- 化学ぞうきんでこすったり、長時間接触させたままにしておきますと、変質する場合がありますので、使用しないでください。

# 故障!?と思う前に

修理を依頼する前に、もう一度次のことを確認したのち、それでもなお異常の場合には、購入店へご相談ください。

現 象	確 認 方 法
テープが走行しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 乾電池が消耗していませんか？</li> <li>● 乾電池の入れかたが間違っていますか？</li> <li>● 一時停止スイッチが“”になっていませんか？</li> <li>● 乾電池の電源に切換えるとき、ACアダプタのプラグを本体からはずしていますか？</li> </ul>
VOS録音時、テープが止まらない。	● 音量/VOSレベル調整つまみが“10”近くになっていませんか？
VOS録音時、テープが走行しない。	● 音量/VOSレベル調整つまみが“0”に近くなっていますか？
回転ムラ・早送り、巻戻しが遅い。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 乾電池が消耗していませんか？</li> <li>● カセットテープの回転が重くありませんか？</li> </ul>
再生音が小さい。 録音・再生音が割れる。 高音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ヘッドが汚れていませんか？</li> <li>● 乾電池が消耗していませんか？</li> </ul>
録音ボタンが押込めない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本機にカセットテープが入っていますか？</li> <li>● カセットテープの安全片が欠けていませんか？</li> </ul>

- 本機を0℃前後から暖かい場所へ急に移したとき、正常に動作しないことがあります。これは、本機の動作部に露が発生したためで、60分程で正常に戻ります。
- 本機を他のラジオやテレビなどの電気機器の近くで使用すると、互いに干渉しあって雑音が入ることがあります。

# アフターサービス

---

## ■保証書(別に添付してあります。)

保証書は必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受取っていただき、内容をよくお読みの後大切に保管してください。

保証期間—ご購入日から1年間。

## ■修理を依頼されるとき

「故障!?と思う前に」の項に従って調べていただき、直らないときには次の処置をしてください。

### ●保証期間中は

おそれいりますが、製品に保証書を添えて、お求めの販売店までご持参ください。

保証書の規定に従って販売店で修理させていただきます。

### ●保証期間が過ぎているときは

お求めの販売店に、まずご相談ください。

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

## ■補修用性能部品の最低保有期間

本機の補修用性能部品(機能維持のために必要な部品)の最低保有期間は、製造打切り後6年です。

この期間は通商産業省の指導によるものです。

## ■アフターサービスなどについておわかりにならないとき

お求めの販売店または最寄りの「ご相談窓口」(別紙ご参照)にお問合わせください。

# 定格

---

トラック方式：モノラル

録音方式：交流バイアス

消去方式：マグネット消去

周波数範囲：150Hz～7000Hz(EIAJ)

入力端子：マイク;0.25mV(200～600Ω)

出力端子：イヤホン;8Ω

スピーカ：5cm 7Ω

実用最大出力：350mW(EIAJ)

(DC時)

電池持続時間：約3時間(EIAJ録音時)

約3時間(EIAJ再生時 VOL.中央付近)

(ナショナルネオ黒乾電池(R6P)使用時)

電源：乾電池;DC3V(単三形乾電池×2個)

AC;100V 50/60Hz

(別売りACアダプタRP-AC3A使用)

カーバッテリー;DC3V(別売りカーアダプタ

RP-993とDCプラグアダプタRP-PA99A使用)

最大外形寸法：125(幅)×93(高さ)×37(奥行)mm(EIAJ)

重量：約230g(乾電池を含む)

★この定格は性能向上のため予告なく変更することがあります。

# Operating Instructions

Thank you for purchasing this unit.

For optimum performance, follow these operating instructions carefully.

## POWER SOURCE

### ■ Battery Operation

(Refer to page 3.)

1. Open the Battery Compartment Cover.
2. Insert 2 UM-3 (Panasonic R6P/LR6 or equivalent) batteries into the Battery Compartment. Make sure that the batteries are installed with proper polarities.

### Notes:

- Batteries installed with incorrect polarities may leak and damage this unit.
- Replace with fresh batteries of the same kind, observing polarity.
- When batteries are used, disconnect both ends of the AC Adaptor or Car Adaptor.

## CASSETTE INSERTION

(Refer to page 3.)

## LOCATION OF CONTROLS

(Refer to page 4.)

- ① Playback Button
- ② Fast Forward/Cue Button
- ③ Rewind/Review Button
- ④ Record Button
- ⑤ Stop Button
- ⑥ VOS/Tone Selector
- ⑦ Pause Switch
- ⑧ Tape Counter and Reset Button
- ⑨ Built-in Microphone
- ⑩ Volume/VOS Level Control
- ⑪ Microphone Jack
- ⑫ Record/Battery Check Indicator
- ⑬ Earphone Jack
- ⑭ Tape Speed Control
- ⑮ Cassette Compartment
- ⑯ Hand Strap
- ⑰ DC Input Jack  
(DC IN 3 V ⊖ ⊕)
- ⑱ Battery Compartment Cover
- ⑲ Speaker

## TAPE PLAYBACK

(Refer to page 6.)

1. Press the Playback Button.
2. Adjust the volume.
3. Select the tone.
4. Adjust the Tape speed.

### ■ Auto-Stop

During playback or recording, when the tape reaches its end, the automatic stop system will release the Playback and Record Buttons and automatically turn the unit off.

### ■ Fast Forward and Rewind




The tape will move rapidly when the Fast Forward Button is pressed. The tape will rewind rapidly when the Rewind Button is pressed.

### ■ "CUE" and "REVIEW"

If the Fast Forward/Cue (or Rewind/Review) Button is partially pressed during playback, the recorded sound on the tape can be monitored at a fast speed.

When the button is released, playback will resume.

### ■ Pause Switch


The tape movement can be stopped temporarily by setting the Pause Switch to the "  " position. The tape movement will start again when the Pause Switch is once again set to the "  " position. Be sure never to set the Pause Switch to the "  " position for a long period of time to prevent deformation of the Pressure roller.

## RECORDING

(Refer to page 8.)

1. Press the Record Button.  
The Record/Battery Check Indicator will light.

This unit is equipped the VOS recording system. In the VOS operation, recording will automatically start when sound is picked up by the microphone. And stops in about 4 seconds after there is no sound picked up by the microphone.

1. Set the Tone/VOS Selector to "  ".
2. Press the Record Button.
3. Adjust the voice activation level using the Volume/VOS Level Control.
  - The lighting of the Record/Battery Check Indicator indicates that the tape is running and recording is being made.

### ■ VOS level adjustment

The Volume/VOS Level Control should be normally set to the "4-7" position. To record loud sound only, rotate the control toward "1-3". To record low sounds, rotate toward "8-10". No sound is recorded at the "0" position.

### ■ Monitoring

The monitor system enables you to listen, through the earphone to the sound as it is being recorded. The monitor level can be adjusted by the Volume/VOS Level Control.

### ■ Quick Review

The review operation is possible during recording by pressing the Rewind/Review Button, only the Record Button will be released, and playback will begin.

### ■ Erasing

Recorded sounds on the tape are automatically erased when a new recording is made.

### ■ Edit Function

Recording can be started during playback by simply pressing the Record Button when using cassettes with tabs in place.

## CONNECTIONS

(Refer to page 12.)

## MAINTENANCE

(Refer to page 17.)

## SPECIFICATIONS

Track System:	2-track monaural recording and playback
Recording System:	AC bias, magnet erase
Frequency Range:	150–7000 Hz
Jacks	
Input:	Mic; 0.25 mV (200–600Ω)
Output:	Earphone; 8Ω
Speaker:	5 cm, 7Ω
Power Output:	350 mW
Power Requirement:	Battery; 3 V (two R6P/LR6 batteries) AC; 100 V with optional AC adaptor RP-AC3A Car Battery (DC3 V); with optional car adaptor RP-993 and DC plug adaptor RP-PA99A
Dimensions: (W×H×D)	125×93×37 mm
Weight:	230 g with batteries

Design and Specifications are subject to change without notice.

Please consult the shop at which you have purchased the set about warranty and service.

便利メモ (おぼえのために、記入されると便利です。)

ご購入年月日	年 月 日	品 番	RQ-L230
ご購入店名	電 話 ( ) -		
最 寄 り の ご 相 談 窓 口	電 話 ( ) -		

松下電器産業株式会社 オーディオ事業部

〒571 大阪府門真市松生町1番4号 ☎(06)909-1021

Matsushita Electric Industrial Co., Ltd. Audio Division  
1-4 Matsuo-cho, Kadoma City, Osaka, Japan 571 ☎(06)909-1021

RQFK2027ZA S0491D0

Printed in Japan